

# 鶏肋報 (けいろくほう) 議員の本懐

県議会議員になり 8 年が経ち、本会議での知事や執行部への質問回数は代表質問 2 回を含め計 11 回を数えます。

当選直後の 2007 (平成 19) 年 6 月定例会での初質問において、選挙開票事務の効率化を通して**職員の意識改革**につなげる提案をしたのを懐かしい気持ちで思い出します。おざき充典はその時々々の県政の重要課題を調査し、解決のための提案をしてきました。

**児童虐待死問題**では、桜井の事例を加害者である親の立場で検証しました。

**県の経済対策**については、藻谷浩介氏の持論を細解きつつ、人口減少を踏まえ、人件費を上げて内需拡大のためのブランド化とアジアの富裕層を取り込む必要性を提案、さらには**女性の社会進出**と消費傾向についても議論しました。

**精神障害者の福祉医療**の問題では、平等理念に基づき他の障害と同等の医療費助成制度の導入をお願いし、実現の運びとなりました。

介護については、現場で働く人の笑顔なくして介護を受ける人が幸せになれるはずが無いという信念のもと、**介護従事者の処遇改善**の提案をさせて頂きました。

**地域交通安全対策 (ゾーン 30)**では西真美自治会の皆さまの熱意と努力の結果としてゾーン指定成功の一助となる質問をさせて頂きました。

**骨髄バンクのドナー登録推進**については、取り組みの強化を約束してくれました。

その他、**関西広域連合未加入問題**や**校庭の芝生化推進**、**消防の広域化**など多くの質問と提案を実行し、知事と議論を交わしました。

議員になって 8 年、おざき充典は常に皆さまのお話を聞かせて頂き、実際に見て、聞いて、感じた矛盾や違和感に敏感に反応する事、その感性に基づき課題の本質を見極め議論をする事、さらに結果を導くだけでなく成果を出して行くという気概をもって県の課題を拾い上げてきました。そうすることでチームおざきとして総力を挙げ、本会議での質問に臨む姿勢を貫けてきたと思います。

おざき充典は議員の仕事のあるべき姿をこう考えています。  
「現状」から「挑戦」へ、「挑戦」から引き出した「結果」を「成果」へ。  
つまり「現状」から課題を冷静に分析し、解決策の提案をする「挑戦」。その挑戦から引き出された答弁等の「結果」を県民の皆様の安心という「成果」にしっかり繋げることです。

平成 26 年 6 月議会で取り上げた救急医療の課題は、「**重症度に関わらず、徒歩でも自家用車でも絶対に断らない ER 救急窓口を県内に新設する**」というおざきの提案 (挑戦) によって、知事の県政運営に大きな方向転換を生み出すことができました。

**議員の本懐**を実感できた瞬間でした。今後も県民の命に直結するこの至上命題が「成果」へと結びつくまで、全力で取り組み続けます。



奈良県議会議員  
おざき充典 議会報告

# 元気通信

第9号  
2015年(平成27年)春号  
おざき事務所  
香芝市下田西 2-3-9  
TEL 0745(77)0862  
FAX 0745(77)0187

## 24時間365日 絶対に断らない“ER型救急”で 奈良の医療を再生させる



### 奈良県の現状

平成18年の妊婦さんたらいまわし死亡事故発生以降も救急搬送時間が全国平均より伸びている。平成18年：33分(全国38位)→平成24年：43分(全国44位)

### 成果

重症度に関わらず徒歩でも自家用車でも絶対に断らないER型救急窓口を県内に設置する事で救急車のたらい回しをなくし、**医師不足も解消**。県民の安心を実現。

### 挑戦

平成26年6月県議会で、知事に重症軽症問わず全ての患者を受け入れるER型救急の重要性を訴え、根拠・データを基に沖縄県、福井県の成功事例を示す。

### 結果

「現在建築中の奈良県総合医療センターにER型診療施設を設ける」と知事の英断を引き出す。その後、知事の「地域医療ビジョン」に徒歩での受け入れ等の具体案発表。

### 救命救急センターにおける救急患者受入率 (平成24年)

都道府県	施設数	照会数 (a)	受入数 (b)	受入率 (b/a)
奈良県	3	1,209	1,029	85.1%
福井県	2	5,174	5,110	98.8%
沖縄県	3	15,644	15,438	98.7%

沖縄県の受入率は同じ施設数に関わらず、奈良県の15倍。



### 「ER(イーアール)型救急」とは?

どこかの専門医が当直を担当するのではなく、24時間 365 日、徒歩や自家用車・救急搬送など、すべての患者を受け入れるシステムのこと。

救急専門医が①重症度・傷病にかかわらず診察し、②手術・入院患者は専門医に任せ、救急専門とする仕組み。

これにより、専門医は専門分野に、救急専門医は救急医療に専念でき、たらいまわしもなくせます。

### — ER型救急の利点—

- ・救急車の受け入れ拒否が発生しない
- ・ERにおける初期診療の質が標準化できる
- ・ERにおける医事紛争が防止できる
- ・各科専門医がそれぞれの専門診療に専念できる
- ・ERにおける初期研修医の研修ができる
- ・初期研修医の獲得が容易になる
- ・病院経営が安定する

# おざき



奈良県議会議員  
おざき 充典

### 県議会での主な役職と経歴

- ◆政策検討会議 副座長
- ◆議会改革推進会議メンバー
- ◆厚生委員長
- ◆文教くらし委員長
- ◆少子高齢化社会対策 特別委員長
- ◆議会運営委員会 副委員長
- ◆奈良県議会がん対策推進議員連盟 役員
- ◆関西広域連合参加を検討する 奈良県議会議員連盟 幹事
- ◆リニア中央新幹線建設促進 奈良県期成同盟会 特別会員

五位堂小・香芝中・近畿大学卒業 / 鎌田在住



# 奈良県議会議員 おざき充典 <sup>みつのり</sup> 8年の挑戦 ～結果から成果へ～



平成 21 年 5 月  
校庭の芝生化推進のため、鳥取県に  
単身視察



県内で芝生化を  
実施した学校の体力  
テストの成績が向上  
しています！

1 期目  
当選

平成 22 年  
住民の方の要望に応え、高山台に  
右折信号を追加設置

設置前に  
悲しい事故が  
ありました



がん患者支援  
チャリティイベント、  
24 時間歩き続ける  
「リレーフォーライフ奈良」  
に毎年参加

がんに負けないため  
には支えが必要です！



平成 23 年 4 月  
東日本大震災ボランティア

復興には  
時間がかかる  
もの  
風化させては  
なりません



平成 23 年 6 月  
独自視察で訪れた島根県  
雲南市では自治会が幼稚  
園の一室を借りて保育所  
を運営していました

やる気さえあれば  
何でもできるものです



平成 26 年  
大学生 5 名がインターン  
としておざき事務所へ勉強  
に来てくれました

若い人たちに少しでも政治に興味をもって  
もらいたいです



平成 25 年 3 月  
厚生委員長として「なら歯と口腔の  
健康づくり条例」を制定

口の中を清潔にすると内臓系の  
病気の発生が減ります

2 期目  
当選

平成 24 年・26 年  
東アジア地方政府会合に出席、  
サマースクールにて講評

東アジアの若者たちの交流は  
国と国との新たな友情を築けます



平成 26 年  
あしびハイツ（香芝）の方々と一緒に  
防災かまどベンチをつくる

作業を  
共にすること  
で地域の  
絆が深まり  
ます



平成 26 年  
精神障害者への医療費助成を実現させる活動

不平等は許さな  
い！知的・身体障害  
者の方と同等の助成  
が必要です



若い政治家や市民と積極的に交流  
塩村あやか東京都議  
かしば女性会議池木郁子さん  
福岡憲宏香芝市議

良くない伝統や習慣が女性の  
社会進出を阻んでいます



平成 26 年  
二度と交通死亡事故を起こさないために、西真美地区  
の交通安全対策を推進

「ゾーン 30」で 30km 速度規制！住民のみなさま  
の願いがようやく実現しました

アジアで初めての OECD 会議が  
奈良県で開催（一番左が荒井知事）



これは知事の手柄です！

## 【議場で知事に訴えた事】（一部抜粋）

- E R 救急の推進と総合医の育成
- 介護従事者の処遇改善
- 骨髄移植医療の推進とがん患者の心のケア
- 関西広域連合への参加と地域主権
- 通学路の交通安全対策（ゾーン 30）
- 児童虐待防止
- 精神障害者への医療費助成
- 県経済活性化の取り組みと企業誘致
- 男女共同参画

詳細は  
おざきホームページ  
「議会報告」をクリック

おざきみつのり 検索  
E-mail: office@ozaki-nara.com  
URL: http://www.ozaki-nara.com



## おざきが進めた議会改革で地域主権の推進！

奈良県議会  
基本条例を  
積極的に立案、  
制定

議会改革推進会議、  
政策検討会議の  
両方向から議会  
改革

県議会の能力  
アップで  
「地域主権」の  
受け皿をつくる

